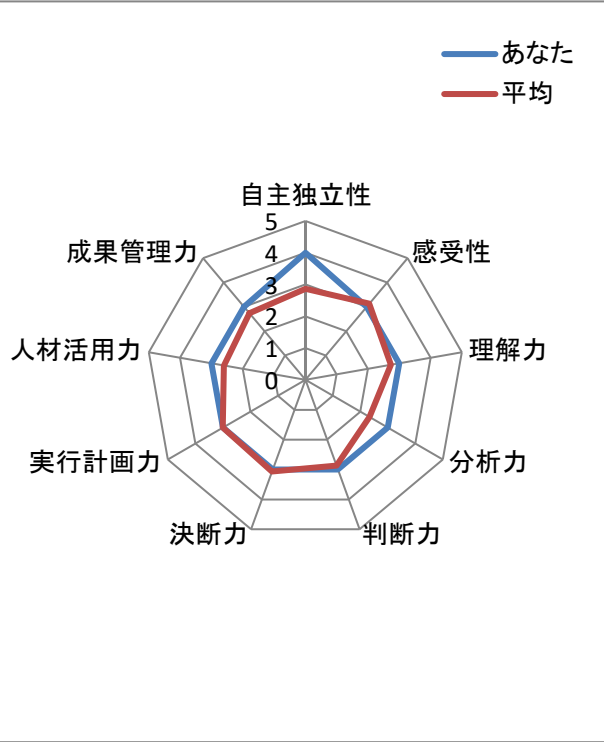


「インバスケツト演習レポート」

スキル領域	○/△	ディメンジョン	あなた	平均
個人	○	自主独立性	4	2.9
対人関係		感受性	3	3.1
意思決定		理解力	3	2.7
		分析力	3	2.3
	△	判断力	3	2.9
	○	決断力	3	3.1
職務遂行		実行計画力	3	3.0
		人材活用力	3	2.6
	△	成果管理力	3	2.7
合計			3.1	2.8



強点 : ○、啓発点 : △

評価は、期待される能力を5点法で行いました。

5 : かなり強く発揮した 4 : 強く発揮した 3 : 適度に発揮した 2 : あまり発揮しなかった
1 : ほとんど発揮しなかった

この報告書は、先般受講いただいた「インバスケツト演習」の結果に基づいて作成したものです。本レポートでは、受講者の方のインバスケツト演習における行動をディメンジョンに基づき多面的に分析させていただきました。報告内容は、強点・啓発点・自己能力開発への提言にて構成されています。このフィードバック報告書が今後の業務遂行の一助となれば幸いです。

A. 強点 < 自主独立性 / 決断力 >

〇〇様は、経験に基づく判断基準を持ち、主張は自信を持って表明します。また、役割意識が高く、率先垂範の言動をとります。一方で、状況判断が可能な場面では、是非を曖昧にすることなく、明快な意思表示を行います。案件処理では意思決定の根拠となる自説を示す一方で、随所で自らが事にあたる姿勢を見せました。また、所与の情報から是非の意思決定が求められる場面では、てきぱきと結論を明言しました。

B. 啓発点 < 判断力 / 成果管理力 >

〇〇様は重要課題や組織運営に関わる課題への着手が後手や手薄になる傾向があります。また、下位者への指示や依頼は、やや一方的になりがちで成果を確実にする意識が不足がちです。案件処理では、組織運営に関わる方針や所信を述べる重要案件は、未着手となりました。クレーム案件では状況判断の誤りから対応が後手になる処理を行いました。また、依頼した策の進捗を確認する言動がないため、成果を確実にするまでには至りませんでした。

C. 自己能力開発への提言

今後は、組織目標の達成や多くの問題解決の当事者として、着手する課題の優先順位を考えた上で取り組んでください。管理者は、経営や組織運営に直結する事案に時間を割くことが求められます。また、管理者の役割は、人を介して成果を出すことです。下位者への指示や依頼は、施策が確実に成果に結びつくように、マネジメントの基本であるPlan-Do-CheckのCheckの取り計らいは必須としてください。結果のフィードバックが無ければ評価ができないこととなります。〇〇様の自己研鑽と益々のご活躍を期待します。

※尚、本レポートは「インバスケツト演習」を評価したものです。